

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成30年11月22日(2018.11.22)

【公開番号】特開2016-81926(P2016-81926A)

【公開日】平成28年5月16日(2016.5.16)

【年通号数】公開・登録公報2016-029

【出願番号】特願2015-202571(P2015-202571)

【国際特許分類】

H 01 M 4/139 (2010.01)

【F I】

H 01 M 4/139

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月12日(2018.10.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器と、吹き出し口と、制御装置と、を有し、

前記容器は、電解液を溜める機能を有し、

前記吹き出し口は、前記容器の内部にガスを供給する機能を有し、

前記制御装置は、前記ガスの供給量を制御する機能を有する、装置。

【請求項2】

容器と、吹き出し口と、制御装置と、を有する装置であって、

前記容器は、第1の電極および第2の電極を保持する機能と、電解液を溜める機能と、  
を有し、

前記吹き出し口は、前記容器の内部にガスを供給する機能を有し、

前記制御装置は、前記第1の電極および前記第2の電極に電位を与える機能を有する、  
装置。

【請求項3】

請求項1又は2において、

ポンプを有し、

前記ポンプは前記吹き出し口から前記不活性ガスを前記電解液中に泡として発生させる  
機能を有する、装置。

【請求項4】

請求項1乃至3のいずれか一において、

前記電解液を加熱する手段を有する、装置。

【請求項5】

容器と、加熱手段と、冷却器と、を有し

前記容器は、第1の電極および第2の電極を保持する機能と、電解液を溜める機能と、  
を有し、

前記加熱手段は、前記電解液を加熱する機能を有し、

前記冷却器は、前記電解液の溶媒の揮発成分を冷却し、凝縮し、前記電解液に滴下する  
機能を有する、装置。

【請求項6】

容器と、加熱手段と、冷却器と、配管と、冷媒と、制御装置と、を有し

前記容器は、第1の電極および第2の電極を保持する機能と、電解液を溜める機能と、を有し、

前記加熱手段は、前記電解液を加熱する機能を有し、

前記冷却器は、前記電解液の溶媒の揮発成分を冷却し、凝縮し、前記電解液に滴下する機能を有し、

前記冷却器と前記制御装置を前記配管で接続することで回路を形成し、

前記制御装置により前記回路の前記冷媒を循環させることにより熱交換を行う、装置。

【請求項7】

請求項1乃至6のいずれか一の装置を用いて作製された二次電池。

【請求項8】

請求項7に記載の二次電池と、アンテナ、操作スイッチ、マイク、または、スピーカと、を有する、電子機器。

【請求項9】

請求項7又は8に記載の二次電池の充放電を制御する機能を有する、電池制御ユニット。